

新型コロナウイルス感染症

八百津町緊急事態宣言

(緊急事態対策期間：6月4日～6月20日)

八百津町の現状

- 八百津町において42人におよぶ県内過去最大規模の福祉施設クラスター発生
 - ・A施設 職員10人、利用者21人、家族4人、関係者2名
 - ・B施設 職員4人、利用者2人(重複利用あり) ※6月3日時点
- 当該クラスターは2つの高齢者施設にまたがり、A施設では予防的検査、ワクチン接種ともに未実施(B施設は予防的検査実施済み、ワクチン接種実施中)
- 八百津町の直近7日間の新規感染者数は31人(岐阜市、可児市に次いで第3位)で、10万人あたり新規感染者数(7日間移動合計)は301.38人(県内1位)また、感染者のうち、60歳代以上の方が74%を占める。



**今回、八百津町で発生した事態は、
どこで発生してもおかしくない状況です。**

(高齢者・施設への感染拡大→重病者増・病床ひっ迫・死亡者増)

感染拡大を防ぐための対策

1 町民の方との危険意識の共有

- 「八百津町緊急事態宣言」の発出(県・町)
「まん延防止等重点措置区域」に八百津町を追加
(対象期間：6月5日～20日)
- 感染拡大防止キャンペーンを展開(町)
防災行政無線、町ホームページ、SNS、ケーブルテレビなどの各種媒体により展開
- 町施設の休館による人流の抑制(町)
杉原千畝記念館、各体育施設、各公民館など
- 町が実施するイベント、講座などの原則中止または延期(町)
行政運営上必要な会議・学校教育に関する行事は除く。

※()内は実施主体

2 「飲食」・「職場」・「家庭」対策

- 学校を通じた各家庭における基本的な感染防止対策の徹底（町）
- 商工会を通じた職場での感染防止対策を依頼（町）
- 飲食店の見回り調査の強化（県・町）

3 予防的検査・ワクチン接種の加速

- 高齢者施設のワクチン接種を6月14日までに完了（町）
- 高齢者接種全体、それ以降の一般接種などについても可能な限り前倒し（町）
- 予防的検査未実施の施設に対しては、町内のワクチン接種のスケジュールを踏まえ、全ての施設において予防的検査を実施（県・町）
- 高齢者に対し、ワクチン接種後も油断せず、基本的な感染対策の徹底について注意喚起（町）
- ワクチンの早期接種、予防的検査の実施について県内全市町村に改めて徹底（県）

4 高齢者施設向け感染対策の強化

- 町内全高齢者施設を対象とした感染症対策専門家による緊急指導（町）
- 町内全高齢者施設に対する緊急立ち入り点検（県・町）
- 町内全高齢者施設へのPPE（個人防護具）の追加配布（県・町）

5 クラスタ分析の横展開

- 今回の大規模クラスターについて、感染症対策専門家による分析を早急に進め、分析に基づく感染予防策を全県で共有（県）

オールやおつで乗り越えましょう!